

# 公益社団法人自動車技術会（JSAE） デザイン部門委員会の紹介

公益社団法人自動車技術会 デザイン部門委員会 委員長 田中昭彦

## ◇ 自動車技術会の沿革・設立経緯

自動車技術会は、1947年に、“自動車に関わる科学技術の進歩発達を図り、もって学術文化の振興及び産業経済の発展並びに国民生活の向上に寄与する”ことを目的として設立され、現在4万名を超える会員が所属する国内有数の学術団体です。日本学術会議への学術研究団体としての登録及び日本工学会への加盟、海外ではFISITA（国際自動車技術会連盟）の有力メンバーとして、積極的な活動を展開しています。

自動車技術会は、総会/理事会の下、8つの会議体と一つの共同研究センター、各地域支部、選挙管理委員会で成立っており、デザイン部門委員会はこの中の技術会議の部門委員会として活動を行っています【図1】。技術会議では、自動車に関連する様々な技術分野の委員会が設置されており、各委員会では、自動車技術に係る課題に取り組み、解決に向かって調査・研究を重ね、技術を結集・統合する活動を推進しています。その結果は、シンポジウムや報告書などによって広く提供/紹介しています。

●図1 自動車技術会 組織概要

